

News Release

Will White
Director of Global Media Relations
+44 20 7980 0146 / +44 7771 555 247
wwhite@uk.ey.com

* 本ニュースリリースは、英国で10月2日に配信されたものの日本語版です。

アーンスト・アンド・ヤング、2012年度の業務収入は244億米ドルと発表

すべてのサービスラインで増収

新興市場では15.5%の成長

人員数は過去最高の167,000人に

ロンドン、2012年10月2日

アーンスト・アンド・ヤングは、本日、2012年6月30日終了事業年度における全世界の業務収入が、前年同期の229億米ドルから244億米ドルに増加したことを発表しました。米ドルベースで6.7%、現地通貨ベースでは7.6%の増収となります。

アーンスト・アンド・ヤングは、今期もすべてのサービスラインにおいて成長を達成することができました。これは、弊社のビジネスモデルと戦略が、近年の経済的混乱の渦中にあっても、いまだその有効性を失っていないことを示しています。監査・保証業務は4.1%、税務業務は7.0%、トランザクションアドバイザリー業務は9.4%、アドバイザリー業務は16.2%の増収と、今日のような経済状況下においても好業績を上げています。また、4つのサービスラインにおける成長のほとんどが自助努力によるものであり、事業買収による増収は0.5%足らずとなっています。

「世界経済は2012年度も、変化の多い不安定な状態が続きました。ユーロ圏の債務危機や米国で差し迫る財政危機が存在する一方で、新興諸国でも経済の減速の兆しがみられるなど、あらゆることが今後のビジネス環境の厳しさを指し示しています。加えて、世界の多くの国々で、規制の流れの先行きが見えないという状況が続くでしょう。それだけに、ここ数年にわたって続く不透明な環境下にあいながらも、2008年以降で最高という素晴らしい業績を達成できたことをうれしく思います」とアーンスト・アンド・ヤング会長兼CEOのジム・ターリーは述べています。

中でも最も高い業績を上げたのが、自動車、ライフサイエンス、鉱業・金属、石油・ガスの各業種セクターであり、それぞれが二桁の成長を達成しました。

好調なビジネスを受けて、人員数も前年から15,000人以上増加して167,000人に達しました。構成員の多様性と受容性(D&I)に関しては、まだ取り組むべき課題は残っています。しかし、世界中で新たに登用されたパートナーのうち女性の占める割合が2010年の20%、2011年の23%から、2012年の25%へと着実に上昇していることが示すように、D&Iの観点からも確かな前進を続けています。

新興市場における成功には、6年前に開始した戦略的な投資計画が大きく寄与しています。計画導入以降、18億米ドルを超える投資をさまざまな国や地域に対して行ってきましたが、その大部分が新興市場に向けられています。

「私たちは今後も新興市場への投資を続けます」とアーンスト・アンド・ヤングの COO であるジョン・フェラーロは述べています。「世界のどこに本社を置く企業であろうとも、成長志向の会社であればみな新興市場の重要性を認識しています。」

2012 年はその投資効果がはっきりと現われました。ブラジルでは自助努力による成長が 17.5%、インド、アフリカ、中国、CIS 諸国はそれぞれ 19.8%、10.2%、11.8%、15.6%の増収となりました。

「世界の資本市場において、アーンスト・アンド・ヤング、そして私たちの業界が果たす役割がかつてこれほど重要だったことはありません。今のように経済見通しが不透明な時代においては、クライアントの皆さまと向き合い、私たちが提供できる最高のサービスを、世界中のあらゆる場所へお届けすることに尽力し続けなくてはなりません」とターリーは結んでいます。

以上

Notes to editors

アーンスト・アンド・ヤング会長兼 CEO ジム・ターリー

先に発表しました通り、ジム・ターリーは 2013 年 6 月に退任し、後任としてマーク・ワインバーガーが会長兼 CEO に就任することから、ターリーによる業績へのコメントは今回が最後となります。ターリーは 2001 年からアーンスト・アンド・ヤングを率いており、グローバル化および新興市場への投資において弊社の活動を成功裏に推進することで、この分野で業界をリードしてまいりました。ターリーのリーダーシップの下、年間の業務収入は約 100 億米ドルから約 244 億米ドルに成長し、人員数は倍増しました。また、考え方、行動および組織構造の観点から、業界で最もグローバルに統合された組織としてアーンスト・アンド・ヤングを確立しました。ターリーは人材を重視する企業文化を奨励し、D&I(多様性と受容性)の推進を強調しています。D&I の推進については外部から多くの賞を受賞しており、認知されています。

アーンスト・アンド・ヤングについて

アーンスト・アンド・ヤングは、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザリーサービスの分野における世界的なリーダーです。全世界の 16 万 7 千人の構成員は、共通のバリュー(価値観)に基づいて、品質において徹底した責任を果たします。私どもは、クライアント、構成員、そして社会の可能性の実現に向けて、プラスの変化をもたらすよう支援します。

「アーンスト・アンド・ヤング」とは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのメンバーファームで構成されるグローバル・ネットワークを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。詳しくは、www.ey.com にて紹介しています。

[関連情報]

エリア別業務収入（単位：百万米ドル）

	2012 年度	2011 年度	増減率	
			米ドル ベース	現地通貨 ベース
米州エリア	9,820	8,981	10.1%	9.3%
EMEIA エリア *	10,459	10,075	6.5%	3.8%
アジア・太平洋エリア	2,813	2,532	8.1%	11.1%
日本エリア	1,328	1,292	-2.3%	2.8%
合計	24,420	22,880	7.6%	6.7%

サービスライン別業務収入（単位：百万米ドル）

	2012 年度	2011 年度	増減率	
			米ドル ベース	現地通貨 ベース
監査・保証	10,923	10,561	4.1%	3.4%
税務	6,370	6,011	7.0%	6.0%
アドバイザリー	4,956	4,304	16.2%	15.1%
トランザクションアドバイザリー	2,171	2,004	9.4%	8.3%
合計	24,420	22,880	7.6%	6.7%

エリア別人員数

	2012 年度	2011 年度	増減率
米州エリア	50,256	45,010	11.7%
EMEIA エリア *1	81,022	73,136	10.8%
アジア・太平洋エリア	29,294	27,125	8.0%
日本エリア	6,653	6,570	1.3%
合計	167,225	151,841	10.1%

サービスライン別人員数

	2012 年度	2011 年度	増減率
監査・保証	66,232	60,527	9.4%
税務	31,988	29,118	9.9%
アドバイザリー	27,046	23,304	16.1%
トランザクションアドバイザリー	8,598	7,922	8.5%
間接業務	33,361	30,970	7.7%
合計	167,225	151,841	10.1%

* EMEIA エリアには、欧州、中東、インド、アフリカが含まれています。

以上